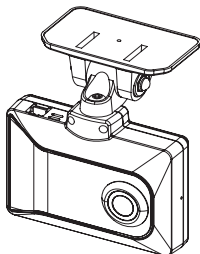


フロント1カメラタイプ 高性能ドライブレコーダー AG424-DRC

取付説明書／取扱説明書／保証書



お買い上げ時の設定では、液晶ディスプレイは安全運転の妨げにならないように、起動後速度 10km/h 以上で走行すると非表示に切替わります。(⇒ P34)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書には取付および操作手順が説明されております。
正しくご使用頂くために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品が動作した状態(駐車監視モードを含む)で microSD™カードの抜き差しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず電源を OFF にし、アクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、抜き差しを行なってください。
※駐車監視モード中は P39 を参考に取出しを行なってください。



アクセスランプ

👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

Elut

目次


はじめに	3	リセットスイッチについて	27
安全上のご注意	3	本体で映像を再生する	28
ご使用上の注意	5	再生画面	29
知っておきたいこと	6	パソコンで映像を再生する	30
梱包内容	9	ビューワソフトを使用する前に	30
各部名称	10	ビューワソフトを使用する	31
microSDカードの 取出し方について	10	設定を変更する	32
別売オプション	11	設定の変更方法	32
取付方法	12	設定一覧	33
取付を行う前に	12	緊急録画停止設定	36
電源コードを接続する	13	駐車監視モードを使用する	37
本体の取付位置を確認する	15	駐車監視モードについて	37
本体を取付ける	16	駐車監視モードの動作について	38
日時を設定する	19	駐車監視モード作動中の microSDカードの取出し方	39
動作を確認する	20	駐車監視モードについてのご質問	39
映像の記録について	21	付録	40
常時録画について	21	よくあるご質問	40
イベント録画について	22	メッセージ一覧表	41
映像を撮る	23	オートディママー機能	42
microSDカードの容量 による記録時間について	23	機器情報	42
初期設定の記録件数の目安	23	LED ランプ確認表	43
microSDカードの容量 による記録時間の目安	24	商標について	43
保存先フォルダー名・ ファイル名について	24	製品仕様	44
録画領域について	25	保証規定	47
駐車監視録画割合について	25	AG424-DRC 保証書	48
録画を開始する (電源を ON にする)	26		
録画を終了する (電源を OFF にする)	26		
録画面面表示	27		


はじめに

安全上のご注意





ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。


 **警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。


 **注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。


本書で使用している記号について


	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。


警告


 運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

 本製品を水につけたり、水をかけたり、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


 本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。


 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。


 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。


⚠ 警告

 異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。


 運転の妨げになる場所には取付しないでください。事故の原因となります。


 エアバッグの展開場所には取付しないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。


 microSDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

 角度調整ネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。


⚠ 注意


 気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。

 本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。


 本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。


- ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
- ・湿度が高い所やほこりの多い所。

 microSDカードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。

 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。

- ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
- ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。

 microSDカードを抜く時は必ず電源を OFF にし、**microSDカードのアクセスランプ (橙) が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSDカードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDカードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDカード故障の原因となりますのでご注意ください。

 一部の先進運転支援システム装着車の場合、取付位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上の注意

- **本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- **事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。**
- microSD カード内に本製品以外のデータを入れしないでください。動作が不安定になることがあります。
- **本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。**
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画を保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、信号機通過前、通過後の映像や周辺の車両状況などから判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。ただし microSD カード、両面テープ、本体内蔵バッテリー等の消耗品およびその他付属品は保証の対象となりません。
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムをコムテックホームページで公開する場合があります。定期的にコムテックホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。*アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は 12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● 液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃ 以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃ 以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
※上記の状態でディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS の速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて

- ・ 本製品は日時情報を保持するために本製品内部にバッテリーを搭載しています。
- ・ 初めて使用する場合や長期未使用（6 ヶ月以上）の場合は、1 時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行なってからご使用ください。
- ・ 内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行っても右記メッセージ画面が表示される場合は、裏表紙記載のコムテックサービスセンターまでご相談ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。

日時設定を行い
1 時間程度
走行してください

● microSDカードについて

- ・ 付属の microSD カードは本製品専用です。
- ・ 本製品を使用するときは、microSD カードが必要です。
- ・ 本製品の対応 microSD カードと付属 microSD カードは以下の通りです。
※対応 microSD カード：8GB ～ 128GB (class10 推奨)
※本製品付属 microSD カード：32GB (class10)
- ・ **microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。**
1 日 2 時間程度使用する場合で約 1 ～ 2 年を目安に交換することをお勧めします。
また、使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。
※寿命となった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・ microSD カードをパソコンでフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・ 本製品使用時は付属の microSD カードを使用してください。付属品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・ 本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・ 本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSD カードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSD カードを定期的にフォーマットせずにご利用することができます。
※本製品は microSD カードを定期フォーマットせずにご利用いただけますが、microSD カードは消耗品のため、**その特性上、フォーマット頂いた方がより長く使用することができます。**
- ・ 本製品で記録したデータをパソコンなどで削除を行うと、本製品に戻した際に録画データの整合性が取れず SD カードの初期化画面へ移行します。記録したデータを削除する場合は、ビューワソフトを使用して削除する、または本製品の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。

- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSDカードを本製品へ挿入すると SDカードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

● パソコンでのフォーマットについて

パソコンで microSDカードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。

URL : <https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

※フォーマットをすると、microSDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

● ビューワソフトについて

本製品の専用ビューワソフトはコムテックホームページ (https://www.e-comtec.co.jp/O_etc/support/support.html#m) よりダウンロードを行うことができます。

● HDR 機能について

- ・本製品には HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 機能を搭載することにより、白とびや黒つぶれを補正した、よりくっきりした録画データを記録することができます。
- ・本機能を OFF に設定することはできません。

アドバイス

白とび / 黒つぶれとは

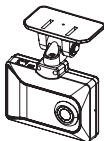
白とび…………… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。

黒つぶれ…………… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

梱包内容

ご使用頂く前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。

AG424-DRC

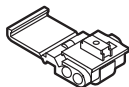


付属品

電源コード (駐車監視対応 / 約4m/1Aヒューズ内蔵)



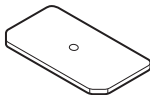
エレクトロタップ (2個)
(0.3sq ~ 1.25sq 用)



取扱説明書 (保証書付き)
(本書 / 1冊)



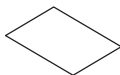
取付ステー固定用
両面テープ (1枚)



六角レンチ
(ステー角度調整用)
(2.5mm/1個)



脱脂クリーナー
(1枚)



microSDカード
(32GB/1枚)



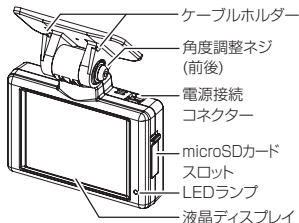
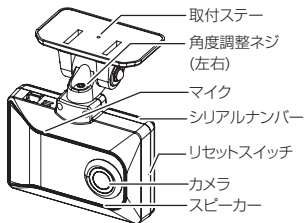
※出荷時にセット
されています。

※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では形状が異なる場合があります。

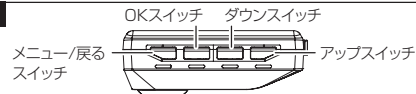
⚠ 注意

- ・ microSDカードは消耗品であり、約1~2年を目安に交換することをお勧めします。
- ・ microSDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 駐車監視モードなど長時間録画を行なうと早めの交換が必要になります。
- ・ 付属品以外のmicroSDカードの動作保証は致しかねます。
- ・ 付属品以外のmicroSDカードを使用する際は必ず本体でmicroSDカードの初期化を行なってください。

各部名称



本体下部



microSDカードの取出し方について

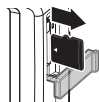
microSDカードを取り出すときは、一度 microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、
横へ倒す。



microSDカードを
軽く押し込み、



少し飛び出してきたら
引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDカードの口ゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

本製品が動作した状態で microSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず電源を OFF 後、アクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、抜き差しを行なってください。

※ 駐車監視モード中は P39 を参考に取出しを行なってください。



アクセスランプ

別売オプション

本製品は株式会社コムテックより販売されている下記オプション品がご使用いただけます。

品名	使用目的	品番
シガープラグコード	車両シガーソケットから電源を取ることができます。	HDROP-18
直接配線コード	車両配線から直接本製品へ電源を供給する際に使用します。	HDROP-15

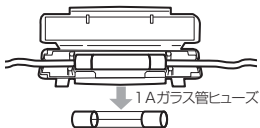
取付方法

取付を行う前に

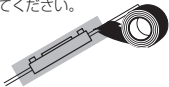
安全に取付けるため、下記の点に注意し、本製品の取付を行なってください。

■ヒューズ交換方法

付属電源コードのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズのガラス管ヒューズ (1A) と交換してください。また、初回取付時やヒューズを交換した後は必ず市販の絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



初回取付時またはヒューズ交換後、市販の絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



■エレクトロタップを使った接続方法

本製品付属のエレクトロタップの適用電線径は 0.3sq ~ 1.25sq です。付属のエレクトロタップを使用し接続する際は、必ず線径に合った車両ハーネスへ接続してください。線径が合わない場合、ハーネスの半嵌合や断線のおそれがあり、接続不良の原因となります。

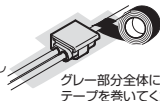
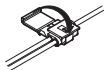
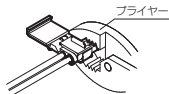
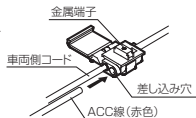
**※必ず付属のエレクトロタップをご使用ください。
接続不良の原因となります。**

1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードの ACC 線は差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。

2) プライヤー等で金属端子を完全に押込みます。

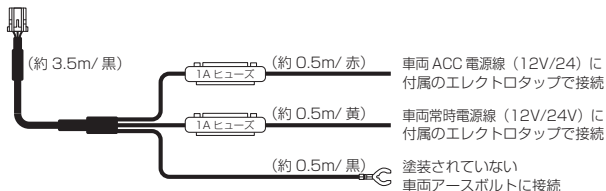
3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。



電源コードを接続する

付属電源コードの各配線を車両の常時電源線・ACC電源線・車両アースボルトに接続します。



■常時電源線 / ACC 電源線を接続する

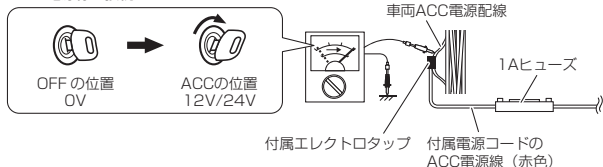
付属電源コードの常時電源 / ACC 電源線を車両の配線に**付属のエレクトロタップで接続**します。

※ ACC 電源線は OFF の位置で電圧が 0V にならない車両の場合、イグニッション電源へ接続してください。

常時電源線の接続



ACC 電源線の接続



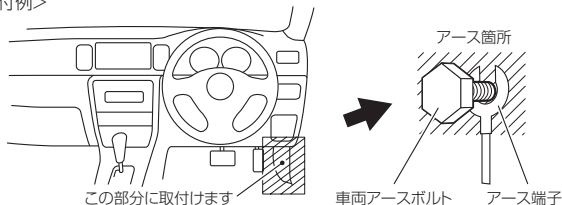
👉 アドバイス

駐車監視モードを使用する場合は、P37 を参考に本製品への入力電圧を確認し、常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース線接続箇所の変更を行なってください。

■アース線を接続する

付属電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

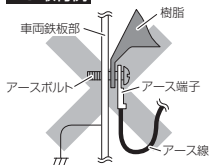
<取付例>



⚠ 注意

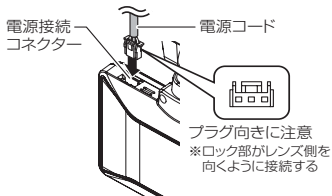
- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる(右図)と動作が不安定になることがあります。車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・アース箇所が塗装されている場合、塗装を剥がして接続を行なってください。
- ・アース端子を切断し、エレクトロタップ等で接続を行わないでください。動作不良の原因となります。

NG 取付例



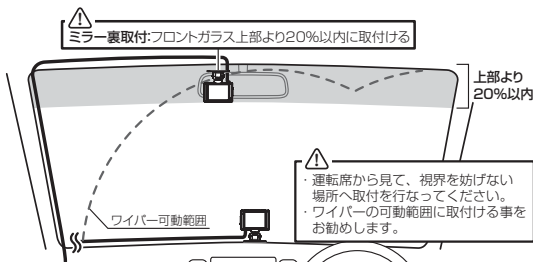
■本体に電源コードを接続する

電源コードのプラグを、本体の電源接続コネクタに差し込んでください。



本体の取付位置を確認する

本製品を取付ける際は保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付を行なってください。



⚠️ 注意

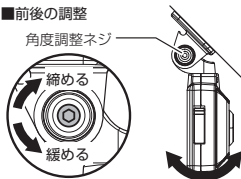
- ・フロントガラスへの取付は、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付してください。
※道路運送車両法の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37
※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両法の保安基準第21条（運転席）、細目告示第27条および別添29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見つらなくなることがあります。
- ・地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付を行なってください。
- ・本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・本製品の取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずGセンサー設定を見直してください。

本体を取付ける

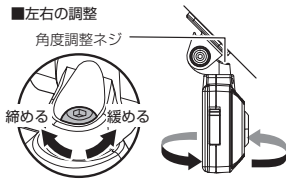
本書ではフロントガラスへの取付を例に説明を行います。

1. ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整後に角度調整ネジを締めます。

■前後の調整



■左右の調整



⚠ 注意

- ・必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行ってください。破損の原因となります。
- ・角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・定期的にネジの緩みがないか点検を行ってください。

👉 アドバイス

- ・カメラレンズを触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようにご注意ください。
- ・広角レンズを採用しているため、ステア取付角度によって、画面両端上に取付ステーが映り込む事があります。あらかじめご了承ください。

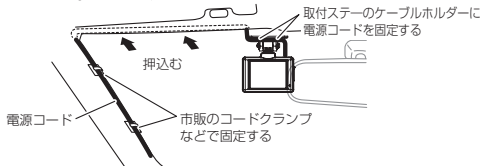
2. 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



- ・必ず付属の脱脂クリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付を行ってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- ・取付後両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり、無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの接着力を強固にするため、貼り付け後、負荷をかけずに24時間放置してください。

3. 電源コードの配線の取回しを行なってください。

※ 電源接続コネクターの接触不良を防止するため、取付ステーのケーブルホルダーに電源コードを通してください。



- ・ 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・ 地デジやラジオ、ワイパー、ETC等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・ 先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行わないでください。
- ・ ケーブルの余長を車両 ECU やプロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。

■ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付の場合



ダッシュボード取付の場合



👉 アドバイス

画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中に本体を反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行ってからご使用ください。

⚠ 注意

- ・ 自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付ないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。
- ・ ダッシュボードの形状や素材によっては貼り付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付を行なってください。

ダッシュボードへの取付はダッシュボードの熱が伝わり、「高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します」のメッセージ表示がフロントガラスへの取付に比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付をおすすめします。

※ メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちください。

高温注意

本体温度が下がるまで
録画を停止します

👉 アドバイス

フロントガラスが垂直に近い車両へ取付ける場合

フロントガラスが地面に対して垂直に近い車両へ取付ける場合、以下の手順で取付ステーなどを組み替えることで取付けることができます。

※ 組み替える際は部品の落下・紛失にご注意ください。

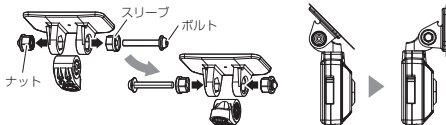
- 1) ステー軸を 180° 回転させます。



角度調整ネジを緩め、

ステアー軸の向きを 180° 回転させる

- 2) ボルトおよびナットをスリーブごと左右入れ替えると、傾斜角 90° (通常時は 60° まで) のフロントガラスまで対応できます。

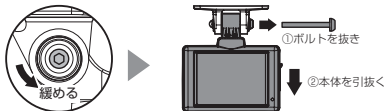


ボルトおよびナットをスリーブごと左右入れ替える。
※取外す際に部品の落下・紛失にご注意ください。

傾斜角が 90° のフロント
ガラスまで対応できます。

■ 本体を取外す

角度調整ネジを緩めて、本体を引抜き取外します。



角度調整ネジ

※外す際に部品の落下・紛失に注意してください。

⚠ 注意

再度取付後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。

日時を設定する

車両に本製品を取付た後に日時設定を行なってください。

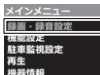
- ※ エンジン始動時に、GPS 衛星を受信すると次の録画ファイルに切替わるタイミングで自動的に時刻を補正します。
- ※ 本製品は日時情報を保持するために本体内部にバッテリーを搭載しています。内蔵バッテリーが消耗すると日時情報がリセットされ、起動時にメッセージ画面とブザー音でお知らせします。その場合正確な日時で映像が記録できなくなるため、必ず日時を設定し直してください。

👉 アドバイス

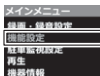
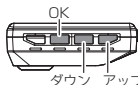
GPS 衛星が受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

■ 設定方法

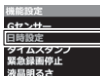
- 1) 【メニュー/戻る】を長押しし、【メインメニュー】を表示する。
※ 60 秒間スイッチ操作を行わないと録画画面に戻ります。



- 2) 【アップ】【ダウン】を押し【機能設定】を選択し【OK】を押す。



- 3) 【アップ】【ダウン】を押し【日時設定】を選択し、【OK】を押す。



- 4) 「年/月/日/時/分/秒」の各項目を【アップ】【ダウン】で変更し【OK】を押すことで次の項目に移動し、「設定」で【OK】を押すと決定します。





動作を確認する

■ GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本体起動後、GPS アイコンが灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。

※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。



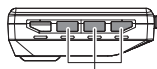
アイコン	表示内容
	GPS を受信時に表示 (白色)
	GPS を未受信時に表示 (灰色)

👉 アドバイス

下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコン色が灰色に変わり、速度の表示がされません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など) その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

■ マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【OK】【ダウン】【アップ】スイッチのいずれかを押ししてください。



【OK】【ダウン】【アップ】
スイッチのいずれかを押し

- 2) 『ピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。
※ 音声は自動で録音されます。



LEDランプ緑点滅

👉 アドバイス

お買い上げ時の録音設定は [ON (大)] になっています。設定で [ON (小)] や [OFF] にすることもできます。(⇒ P33)

■記録した映像を確認する

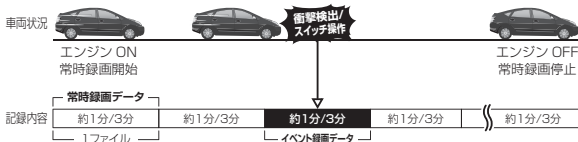
28 ページの【本体で映像を再生する】を参考に、記録した映像を確認してください。

◀確認内容▶

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること。
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
- ・録画データに音声録音されていること。

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い（停車中のもらい事故やバンパーをこする・軽くへこむ程度の事故など）場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像を保存して、ご確認ください。

👉 アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作は変更することができます。
- ・起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。

常時録画について

- ・エンジンを ON（車両キースイッチを ACC または ON）にした後からエンジンを OFF（車両キースイッチを OFF）にするまでを、常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・本製品では使用する microSD カードの容量によって、1 ファイルあたりの記録時間が変わります。（⇒ P23）

イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、スイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』、駐車中の衝撃を検出した時点のファイルを記録する『駐車監視衝撃録画データ』の3種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では、記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P33)
- ・ 本製品は使用する microSD カードの容量によって、1ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P23)

■ 衝撃録画データ

- ・ 本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。

■ マニュアル録画データ

- ・ 本製品スイッチ (【OK】【ダウン】【アップ】スイッチ) 押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。

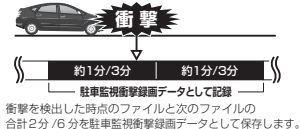
■ 駐車監視衝撃録画データ

- ・ 駐車監視モード中に本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。ただし、[駐車監視録画方式] 設定を【衝撃】に設定した場合は、衝撃検出時点の 5 秒前から 1 分間または 3 分間を『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・ 駐車監視モード中の G センサーの感度は設定により [高 / 中 / 低] の 3 段階で感度調整することができます。お買い上げ時は【中】に設定されています。

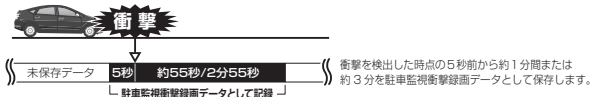
◆ 常時・衝撃に設定した場合



◆ 後半 10 秒以内に衝撃を検出した場合



◆ 衝撃に設定した場合



映像を撮る

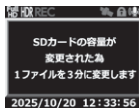
microSDカードの容量による記録時間について

- ・ 本製品は microSD カードの容量によって1ファイルあたりの記録時間が変わります。
- ・ microSD カードの容量による1ファイルの記録時間は以下の通りです。

microSDカード容量	1ファイルあたりの記録時間
8GB	1ファイル/1分
16GB	
32GB	
64GB	
128GB	1ファイル/3分

📢 アドバイス

- ・ 上記表により、1ファイルあたりの記録時間が変更される microSDカードを挿入した場合は液晶画面と音声でお知らせを行います。
 - ・ 本製品でフォーマットを行っていない microSDカードを挿入した場合、microSDカードのフォーマット後に1ファイルあたりの記録時間変更お知らせを液晶画面と音声で行います。
- ※ 1ファイルの記録時間に変更が無い場合はお知らせしません。



初期設定の記録件数の目安

初期設定値【FullHD・27.5fps・イベント録画領域20%・駐車監視モードOFF】の場合（345件記録した場合）

容量	常時録画	イベント録画	駐車監視常時録画	駐車監視衝撃録画
32GB	276件	69件	0件	0件

- ※ 駐車監視録画の最低録画件数は5件となります。うち駐車監視常時録画は3件、駐車監視衝撃録画は2件となります。

⚠️ 注意

- ・ 付属品以外の microSDカードを使用する際は必ず本体でSDカードの初期化を行なってください。
- ・ microSDカードは消耗品であり、1日2時間程度使用する場合で約1～2年を目安に交換することをお勧めします。
- ・ microSDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 付属品および別売りオプション品以外の microSDカードの動作保証は致しかねます。

microSDカードの容量による記録時間の目安

- ・ 下記表は [イベント録画領域] 設定が【20%】(初期設定) の場合の常時録画記録時間を示します。
- ・ 記録時間は microSDカードの容量、録画サイズ設定により変動します。
 ※ 対応 microSDカード：8GB ～ 128GB (class10 以上推奨)
 ※ 本製品付属 microSDカード：32GB (class10)

録画サイズ	フレームレート	microSDカード容量				
		8GB	16GB	32GB	64G	128G
Full HD	27.5fps	約 85 分	約 170 分	約 345 分	約 690 分	約 1385 分
	タイムラプス	約 21 時間	約 43 時間	約 86 時間	約 173 時間	約 346 時間
HD	27.5fps	約 135 分	約 270 分	約 555 分	約 1115 分	約 2240 分
	タイムラプス	約 34 時間	約 69 時間	約 139 時間	約 279 時間	約 560 時間

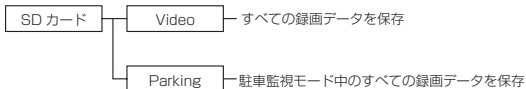
※ 太枠は付属 microSDカードを示します。

保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が microSDカードに記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日付・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

フォルダーやファイルの変更または削除を行うと、SDカードの初期化が必要となり、全ての動画が削除されますのでご注意ください。

●フォルダー構成

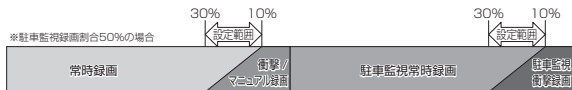


●ファイル名称は以下の内容で保存されます。



録画領域について

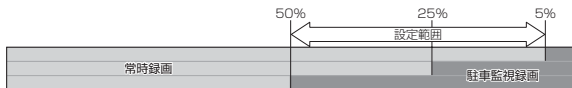
- ・ お買い上げ時の設定では microSDカード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画の領域として設定されています。
- ・ 設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。(⇒ P33)
- ・ イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画と駐車監視常時録画の保存容量の割合は連動して変更されます。



- ※ 衝撃 / マニュアル録画データがない場合は、全て常時録画を記録します。
- ※ 駐車監視録画方式を [衝撃] に変更した場合は、駐車監視常時録画の領域もすべてイベント録画として保存されます。
- ※ 録画領域を変更すると、microSDカードの初期化を行うため変更前に記録されたすべてのデータが消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへのバックアップを行ってから設定を変更してください。

駐車監視録画割合について

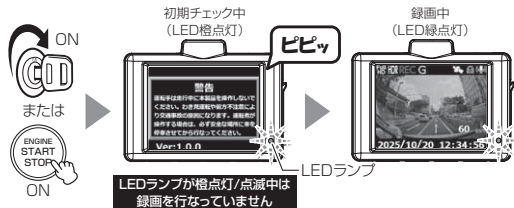
- ・ お買い上げ時の設定では microSDカード全体が常時録画領域として設定されています。
- ・ 駐車監視モードを設定することで、駐車監視録画データの録画割合を [5% / 25% / 50%] から選択することができます。(⇒ P35)
- ・ 録画割合の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。



- ※ 駐車監視録画割合を変更すると、microSDカードの初期化を行うため変更前に記録されたすべてのデータが消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへのバックアップを行ってから設定を変更してください。
- ※ 駐車監視録画データがない場合でも常時録画の記録できる時間は変わりません。

録画を開始する（電源を ON にする）

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。録画が開始されます。



アドバイス

microSDカードチェック機能

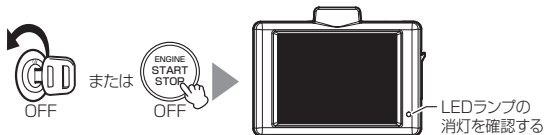
本製品では起動時に microSD カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※ 対処方法に関しては P41 を参照ください。

SDカードを
確認してください

録画を終了する（電源を OFF にする）

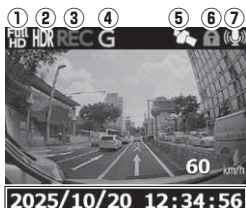
車両キースイッチを OFF にしてください。録画が終了します。



アドバイス

駐車監視モードの動作中に電源を OFF にする場合は、P38 を参考に電源を OFF にしてください。

録画面面表示



—現在の日時を表示

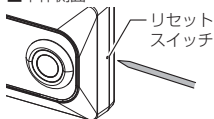
アイコン	表示内容
① Full HD HD	録画サイズの設定内容 (Full HD / HD) を表示
② HDR	HDR 機能が有効なことを表示
③ REC RECT	録画方式 (通常録画 / タイムラプス録画) を表示
④ G M P PG	録画種類 (衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃) を表示
⑤	GPS の受信状態を表示
⑥	上書き禁止の設定内容 (OFF / イベント / ALL) を表示
⑦	音声録音の設定内容 (OFF / ON 小 / ON 大) を表示

リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細い物で押し、本製品のシステムを再起動してください。

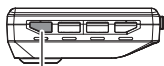
※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。

■ 本体側面

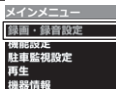


本体で映像を再生する

1. 【メニュー/戻る】を長押しし、メインメニューを表示する。

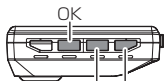


メニュー/戻る

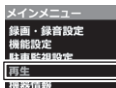


【メニュー/戻る】を長押し

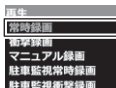
2. 【再生】を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。



ダウン アップ

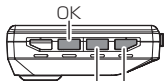


【アップ】【ダウン】で選択

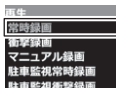


3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。

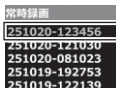
- ・ [常時録画] 常時録画データを表示
- ・ [衝撃録画] 衝撃検出による録画データを表示
- ・ [マニュアル録画] スイッチ操作による録画データを表示
- ・ [駐車監視常時録画] 駐車監視中の常時録画データを表示
- ・ [駐車監視衝撃録画] 駐車監視中の衝撃検出による録画データを表示



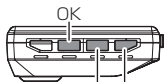
ダウン アップ



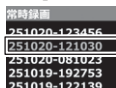
【アップ】【ダウン】で選択



4. フォルダーを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。



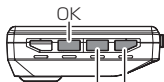
ダウン アップ



【アップ】【ダウン】で選択



5. ファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと再生が始まる。



ダウン アップ

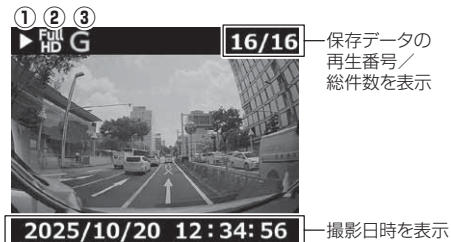


【アップ】【ダウン】で選択



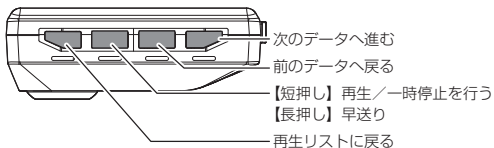
6. 再生終了後は【メニュー/戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

再生画面



	アイコン	表示内容
①	▶ ▶	動作状態（再生／一時停止／早送り）を表示
②	Full HD HD	録画サイズの設定を表示
③	G M P PG	録画種類（衝撃／マニュアル／駐車常時／駐車衝撃）を表示

■再生画面での操作



パソコンで映像を再生する

- 本製品で録画した映像は、専用ビューソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。
- ビューソフトは、コムテックホームページ (https://www.e-comtec.co.jp/O_etc/support/support.html#m) より無料でダウンロードすることができます。

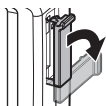
👉 アドバイス

- ビューソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS：日本語版 Windows® 8.1 / 10 / 11
CPU：intel®Core™ i3 プロセッサ 2.4GHz 同等以上を推奨
メモリー：4GB 以上を推奨
画像解像度：FullHD (1980 × 1080) 以上を推奨
※ Internet Explorer がインストールされていないと正常に動作しない事があります。
※ タブレット PC 除く。
- パソコンの OS アップデートによりビューソフトが正常に動作しなくなった場合はコムテックホームページより最新版のビューソフトをダウンロードし、お試しください。
※ 最新版のビューソフトが公開されている場合、ビューソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)

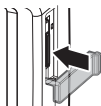
ビューソフトを使用する前に

本体から microSD カードを抜いてください。microSD カードを抜く際は、車両キースイッチを OFF 後、microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードを取出します。

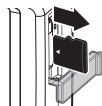
- microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出てきたら引き抜いてください。
- 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSD カードを軽く押し込み、



少し飛び出てきたら引き抜く。

⚠ 注意

- 本製品が動作した状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず電源を OFF にし、アクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、抜き差しを行なってください。
- 駐車監視モード中は P39 を参考に取出してください。



アクセスランプ

ビューワソフトを使用する

- 1) microSDカード内のショートカットファイル [AG424-DRC_download] をダブルクリックすると、ダウンロードページが表示されるので、専用ビューワソフトをダウンロードしてください。



Elut viewer(424).zip
(ダウンロードしたファイル)

アドバイス

ご使用のパソコンやカードリーダーにSDカードサイズのスロットしかない場合は、市販の「SDカード変換アダプター」を使用し、microSDカードをSDカードサイズに変換し、挿入してください。





- 2) ダウンロードしたファイルを展開します。



Elut viewer(424).zip
(ダウンロードしたファイル)



Elut viewer(424) フォルダー
(展開してできたフォルダー)

- 3) 2) で展開したフォルダー内にあるビューワソフト [Elut viewer(424).exe] をダブルクリックし、ビューワソフトを起動します。
 Elut viewer(424).exe
Elut viewer(424).exe
COMTEC
- 4) ビューワソフトの参照先ボタンをクリックし、【SDカード】を選択して映像の再生を行なってください。


専用ビューワソフトの詳しい使用方法に関しては
コムテックホームページをご確認ください。

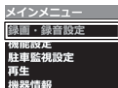
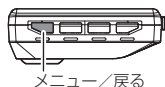
設定を変更する

下記手順で、各種設定の変更ができます。
※ 約 60 秒間操作を行わないと、自動的に設定モードを終了します。
(それまで変更した設定内容は保存されます)

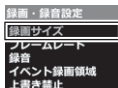
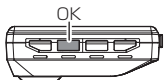
設定の変更方法

例：録画サイズの設定を【HD】に設定変更するには・・・

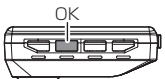
1. 【メニュー/戻る】を長押しし、【メインメニュー】を表示する。



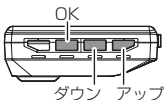
2. 【録画・録音設定】が選択されているので【OK】を押す。



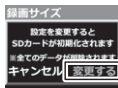
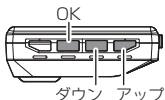
3. 【録画サイズ】が選択されているので【OK】を押す。



4. 【アップ】または【ダウン】を1回押して【HD】を選択し、【OK】を押す。



5. 【アップ】または【ダウン】を押して【変更する】を選択し、【OK】を押す。
※ 続けて別項目を設定することもできます。



6. 【メニュー/戻る】を押し設定モードを抜けると、SDカードの初期化が始まり、完了すると録画面が表示されます。



設定一覧

表内の【太字】は初期設定です。

■録画・録音設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
録画サイズ設定	記録する映像のサイズを設定します。	【Full HD (1920x1080)】	Full HD (1920x1080) サイズで記録を行います。
		HD (1280x720)	HD (1280x720) サイズで記録を行います。
フレームレート設定	記録する映像のフレームレートを設定します。	【27.5fps】	1秒間に27.5枚の画像を記録します。
		タイムラプス	1秒間に1枚の画像を記録し、長時間の映像を短縮して再生できるように記録します。
録音設定	記録する映像に音声の録音を行うか設定します。	OFF	音声の録音を行いません。
		ON (小)	小さめの音量で音声の録音を行います。
		【ON (大)】	大きめの音量で音声の録音を行います。
イベント録画領域設定	イベント録画(衝撃録画およびマニュアル録画)の容量割合を設定します。	10%	microSDカード容量の10%をイベント録画領域として設定します。
		【20%】	microSDカード容量の20%をイベント録画領域として設定します。
		30%	microSDカード容量の30%をイベント録画領域として設定します。
上書き禁止設定	録画データがmicroSDカード容量の上限まで達した場合の動作を設定します。	【OFF】	すべての録画データを上書きします。
		イベント	イベント録画データのみ上書きを禁止します。
		ALL	すべての録画データの上書きを禁止します。
カメラ輝度設定	記録する映像の明るさを設定します。	明るい	明るめの明るさで映像を記録します。
		【標準】	標準の明るさで映像を記録します。
		暗い	暗めの明るさで映像を記録します。
速度情報	速度情報の記録を設定します。	OFF	速度情報を記録しません。
		【ON】	速度情報を記録します。
地図情報	地図情報の記録を設定します。	OFF	地図情報を記録しません。
		【ON】	地図情報を記録します。

■機能設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
Gセンサー設定	衝撃を検出する感度を前後・左右・上下それぞれ設定します。	OFF	衝撃の検出を行いません。
		0.1G(敏感) ~ 【0.6G】 ~ 1.0G(鈍感)	0.1G(敏感) ~ 1.0G(鈍感)の設定した感度で衝撃を検出し録画を行います。
日時設定	本製品の日時を設定します。	—	

項目	項目説明	設定値	設定内容
タイムスタンプ	録画データに録画日時を埋め込みます。専用ビューワソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認できます。 ※タイムスタンプ機能は録画しながら映像へ日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。	OFF	録画データに録画日時を埋め込みません。
		[ON]	録画データに録画日時を埋め込みます。
緊急録画停止設定	緊急録画停止機能が作動する衝撃感度を設定します。 ※緊急録画停止機能に関しては右記をご確認ください。	OFF	強い衝撃を検出しても録画を停止しません。
		1.1G (敏感) ~ [1.5G] ~ 2.0G (鈍感)	1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感) の設定した感度で衝撃を検出し録画を停止します。
液晶明るさ設定	液晶ディスプレイの明るさを設定します。	明るい	明るめの明るさで液晶ディスプレイを表示します。
		[標準]	標準の明るさで液晶ディスプレイを表示します。
		暗い	暗めの明るさで液晶ディスプレイを表示します。
液晶表示設定	録画モード中の液晶ディスプレイの表示内容を設定します。	OFF	液晶ディスプレイの表示を行いません。 [メニュー / 戻る] スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
		[速度連動]	起動後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切り替わります。停車後も非表示のままとなりますが [メニュー / 戻る] スイッチを押すことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。
		ON	液晶ディスプレイを常に表示します。
		時計	時計とカレンダーを常に表示します。 ※ 時計表示中に [メニュー / 戻る] スイッチを押すと 30 秒間録画映像を表示します。
本体音量設定	本体の操作確認音や映像再生時の音量を設定します。	OFF	本体音量を消音します。※メッセージ画面表示時の効果音は出力されます。
		1 ~ [5] ~ 10	1 (小) ~ 10 (大) の設定した大きさとで本体音量を出力します。
SDカードの初期化	microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。	—	
工場出荷状態に戻す	本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。	—	

■駐車監視設定一覧

項目	項目説明	設定値		設定内容
駐車監視モード	駐車監視モードの設定をします。	【OFF】		駐車監視モードを作動しません。
		ON		駐車監視モードを作動します。
録画割合	駐車監視録画データの保存容量の割合を設定します。 駐車監視モード設定を変更すると自動的に表示します。	【5%】		保存容量 5%に設定します。
		25%		保存容量 25%に設定します。
		50%		保存容量 50%に設定します。
録画方式	駐車監視録画方式を設定します。	衝撃		駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
		【常時・衝撃】		駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
		タイムラプス		駐車監視モード中、1秒に1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。
録画停止電圧	駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を12V/24V車両それぞれ6段階から設定します。 ※起動時に車両電圧を認識して数値を表示します。	12V車	11.7V ~ 【12.2V】 (0.1V単位で設定)	11.7V ~ 12.2Vの設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。
		24V車	23.4V ~ 【24.4V】 (0.2V単位で設定)	23.4 ~ 24.4Vの設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。
録画時間	駐車監視モードの動作時間を設定します。	30分・【1時間】 ~ 12時間・24時間		駐車監視モードの動作時間を30分、1時間 ~ 12時間、または24時間に設定します。
		常時 ON		駐車監視モードを常時 ON します。
衝撃録画停止	駐車監視モード中に衝撃を検出した場合に、上書き防止のため5分後に録画を停止します。	OFF		衝撃録画停止を設定しません。
		【ON】		衝撃録画停止を設定します。
衝撃お知らせ	駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。 お知らせ後は【OK】スイッチを押してお知らせを解除するまで録画を開始しません。	OFF		衝撃お知らせを設定しません。
		【ON】		衝撃お知らせを設定します。
衝撃感度	駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。	高（敏感）		高（敏感）感度で検出します。
		【中】		中感度で検出します。
		低（鈍感）		低（鈍感）感度で検出します。

項目	項目説明	設定値	設定内容
降車キャンセル	車両から降車する際の振動による衝撃を検出して、駐車監視衝撃録画データとして記録を行わない時間を設定します。	1分	1分間検出しません。
		[3分]	3分間検出しません。
		5分	5分間検出しません。
乗車キャンセル	車両へ乗車する際の振動による衝撃を検出して、衝撃お知らせを行わない時間を設定します。	1分	1分間検出しません。
		[3分]	3分間検出しません。
		5分	5分間検出しません。

緊急録画停止設定

- ・ 緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・ 衝撃を検出する感度を [OFF / 1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は **[1.5G]** に設定されています。



60 秒後



⚠ 注意

強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの 60 秒の間に設定メニューに入る、microSDカードを抜く、その他メッセージ表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。

👉 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

そのため事故後 microSDカードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

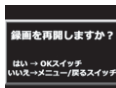
万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSDカードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。
※ 再開するまで3分に一度ブザー音でお知らせします。
※ 事故時の録画データが必要な場合は録画を再開する前にパソコンへ保存してください。



①【OK】を押す



②【OK】を押す



③録画が再開される

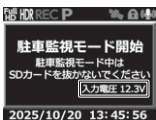
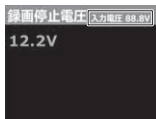
駐車監視モードを使用する

駐車監視モードについて

- ・本製品は車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができる駐車監視モードを搭載しています。
- ・使用する際は必ず設定画面より『駐車監視モード』の設定を変更してください。お買い上げ時の状態では駐車監視モードに移行しません。

■駐車監視・直接配線コードを取付たら

- ・付属の『駐車監視・直接配線コード』を取付たら、【メニュー/戻る】を**長押し**し、メインメニュー → 駐車監視設定 → 録画停止電圧設定を表示します。現在の**入力電圧**が表示されますので、テスターなどを使用して常時電源接続ポイントと入力電圧の数値に大きな差がないことを確認します。
- ・駐車監視中の**入力電圧**の確認は [駐車監視モード] を ON に設定して、車両キースイッチを OFF にした後の駐車監視モード移行画面でも確認することができます。



👉 アドバイス

- ・常時電源の接続ポイントと電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアースポイントの変更を行なってください。
- ・表示される数値はあくまでも参考値となります。本体の設定内容によっても表示誤差は発生します。
- ・電源配線のカットまたは延長は、表示数値の誤差が大きくなりますのでおやめください。

⚠ 注意

- ・ 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- ・ 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- ・ 駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- ・ 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

駐車監視モードの動作について

■ 駐車監視モードに移行する

- ・ [駐車監視モード] 設定を ON に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・ 駐車監視モード動作中は LED ランプが緑 3 回早点滅を繰り返します。
- ・ 駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■ 駐車監視モード動作中



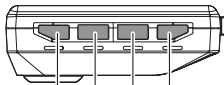
緑 3 回早点滅

👉 アドバイス

車両キースイッチ OFF 後、[降車キャンセル] 設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、衝撃の検出を行いません。

■ 駐車監視モードを終了する (電源を OFF にする)

- ・ 駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点や本体下部の任意のスイッチを長押しすることで終了させることができます。
- ・ 停止電圧設定以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。



任意のスイッチ
(長押し)

駐車監視モード作動中の microSDカードの取出し方

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本体は動作しています。そのため microSDカードを抜く際は、**必ず任意のスイッチを長押し** (⇒ P38) して駐車監視モードを終了後、**microSDカードアクセスランプが消灯したことを確認し**、microSDカードを抜いてください。

駐車監視モード作動中
(LED3 回早点滅の繰り返し)



任意のスイッチを長押しする



駐車監視モード停止
(LED 消灯)



microSD カード
アクセスランプ
(LED 消灯)

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード作動中でも [録画時間] 設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が [録画停止電圧] 設定以下になると、駐車監視モードを終了します。
- ※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード作動中に本体の使用温度範囲を超えた場合、一時的に録画を停止します。使用温度範囲に戻ると録画を再開します。ただし、車内温度が高温に達した場合は駐車監視モードを終了します。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. [駐車監視モード] 設定が [ON] に設定されていることをご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が [録画停止電圧] 設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. 付属電源コードの常時電源線を、車両 ACC 線へ接続していると駐車監視モードへは移行しません。
4. シガープラグコード [HDROP-18]、直接配線コード [HDROP-15] で接続している場合は、駐車監視モードへは移行しません。

Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

- A. [駐車監視モード] 設定を [OFF] に設定してください。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中は本体の LED ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	LED ランプ
駐車監視モード作動中	緑 3 回早点滅
駐車監視モード作動中 (衝撃のみ)	橙 3 回早点滅
駐車監視モード作動中に衝撃を検出	緑点滅

Q. 側方の映像も録画しますか？

A. カメラの向いている方向のみの録画となります。

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

A. 駐車監視モード作動中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

付録

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。
液晶表示が消える。	● [液晶表示設定] が [速度連動] になっていませんか？ [ON] にすることで液晶ディスプレイを常に表示することができます。
LED ランプが点灯しない。	● 付属の電源コードのヒューズが切れていませんか？ ● 接触不良や断線などしていませんか？
記録した映像を削除したいのですが？	● ビューワソフトを使用してファイルを削除することができます。
事故の衝撃録画映像が保存されていない。	● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画や常時録画データを保存することをお勧めします。 ※ 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● [録画サイズ] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。
microSDカードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSDカードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ● イベント録画データ (衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃) は上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定しているとメッセージが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューワソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。
microSDカードに録画データが保存されていない。	● microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度走行する場合で約1～2年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDカードの寿命は短くなります。
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	● microSDカード内に本製品以外のデータが保存されていませんか？ ● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で microSDカードの初期化を行ってください。

内 容	ここをチェックしてください。
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSDカードがパソコンで認識されない。	● お使いのカードリーダーは microSDHC™に対応していますか？付属のカードは microSDHCカードとなっているため、microSDHC に対応している必要があります。

メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SDカードが挿入されていません	電源を OFF 後 microSDカードを挿入し、再起動してください。
SDカードを確認してください	microSDカードが故障している可能性があります。電源 OFF 後 (⇒ P26、P38)、microSDカードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、microSDカードを挿入し再起動してください。 症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試してください。それでも改善されない場合は microSDカードの故障が考えられるため、microSDカードの交換をおすすめします。
SDカードの初期化を行ってください	新しい microSDカードを挿入すると表示されます。初期化を行ってください。
録画データと設定が一致しません どちらか選択して初期化してください	設定が異なる microSDカードを挿入すると表示されます。 ※ [SDカード] または [本体設定] のどちらか選択したほうが初期化されます。
録画データが変更されています SDカードの初期化を行ってください	microSDカード内の録画データをパソコンで削除など操作をした際に出るメッセージです。本体で microSDカードの初期化を行ってください。
高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します	本体の使用温度範囲を超えているため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間をおいて車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止イベント録画がいっぱいです 上書き禁止録画データがいっぱいです 録画を停止します	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態、microSDカードの容量を超えて録画しようとした際に出るメッセージです。 上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、ビューワソフトで不要な録画データを消去してください。
リセットスイッチを押して再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、コムテックサービスセンターまでご相談ください。

メッセージ	対処方法
しばらくお待ちください	録画データの読み込みに時間がかかる際に表示します。処理が終了するまでしばらくお待ちください。 ※状況により数分かかる場合があります。
日時設定を行い 1時間程度 走行してください	長期使用していない場合や内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリーの充電不足により日時情報がリセットされた際に出るメッセージです。1時間程度走行し内蔵バッテリーの充電を行なってください。症状が改善されない場合はコムテックサービスセンターまでご相談ください。
書き込み速度が低下 しています 本体の再起動を 行います	microSDカードの断片化が進み、書き込み速度が低下した際に表示され、その後自動で本体が再起動します。必要なデータをパソコンに保存のうえ、microSDカードをパソコンでフォーマット、または本製品の設定メニューより初期化を行うことをおすすめします。
書き込み速度が 低下しています 必要なデータを保存の上 SDカードの初期化を 行なってください	上記状態より書き込み速度がさらに低下した際に表示されます。必要なデータをパソコンに保存のうえ、microSDカードをパソコンでフォーマット、または本製品の設定メニューから初期化を行なってください。
更新に失敗しました ボタンを押すと再起動します 10秒後に自動再起動します	本製品のファームウェア更新に失敗した際に表示されます。機種名をご確認のうえ、専用のファームウェアをもう一度ダウンロードして更新を行なってください。
SDカードの寿命が 近づいています SDカードを交換してください	microSDカードの寿命が近づいている際に出るメッセージです。新しいmicroSDカードに交換してください。

※ 上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプと液晶の明るさを自動的に調整します。

機器情報

メインメニュー内の「機器情報」を選択することで本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

機器情報

FW Ver : 1.0.0
入力電圧 : 12.3V

LED ランプ確認表

本製品動作時の LED ランプの確認表です。

LED ランプ表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中
緑点滅	録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	録画停止	設定モード中
橙点滅	録画停止	メッセージ表示または緊急録画停止中
緑・橙交互点滅	録画停止	本体ファームウェアのアップデート中
駐車監視時		
緑 3 回早点滅	録画中	駐車監視モードによる録画中
橙 3 回早点滅	監視中	衝撃待機中 ※録画方式 [衝撃] を選択
緑点滅	録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中 降車キャンセルタイマー中 ※ 録画方式 [常時・衝撃]、[タイムラプス] を選択時
橙点滅	監視中	降車キャンセルタイマー中 ※ 録画方式 [衝撃] を選択時

商標について

- ・ microSD™、microSDHC™ および microSDXC™ は SD アソシエーションの登録商標です。
- ・ microSD ロゴ、microSDHC ロゴおよび microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- ・ Windows® はアメリカ合衆国 Microsoft Corporation のアメリカ合衆国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- ・ Intel® Core™ はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ Google™ および Google ロゴ、Google マップ™ および Google マップ ロゴ、ストリートビューは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・ その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークなどは、各社の商標または登録商標です。



製品仕様

電源電圧	DC12V/24V	
最大消費電流	通常時：300mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：600mA 以下	
動作温度範囲	- 10℃～60℃	
カメラ	撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー
	総画素数	200 万画素
	有効画素数	最大 200 万画素
	レンズ画角	水平 110° 垂直 56° (対角 138°)
	F 値	F2.1
記録映像サイズ	Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720)	
録画画質	Full HD：平均 10Mbps / HD：平均 7.2Mbps	
GPS	○	
G センサー	○	
記録方式	常時録画 / イベント録画(衝撃録画) / マニュアル録画(手動録画)	
録画ファイル構成	1 分 / 3 分単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	27.5fps	
映像ファイル形式	MOV (MPEG-4 AVC / H.264)	
記録映像再生方法	専用ビューソフト ※ Windows 8.1/10/11 専用 (タブレット PC 除く)	
	本体液晶	
記録媒体	microSDカード (付属：32GB/class10) 8～128GB 対応 class10 推奨	
液晶サイズ	2.7 インチフルカラー TFT 液晶	
本体サイズ	78(W) × 53(H) × 28.4(D)/mm	
	取付ステー装着時	78(W) × 84.9(H) × 28.4(D)/mm
重量	98g (取付ステー含む)	

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
予めご了承ください。

■カメラ画角イメージ

